

平成29年度第3回 下野市地域公共交通会議 会議録

	平成30年1月29日(月)午後2時00分～午後3時15分
開催場所	下野市役所2階 203会議室
出席者	長田哲平、小貫真人、山田博、小口英明、渡邊欣宥、高瀬和子、栗田英樹、関口達也、伊勢典浩(代)、根岸章浩(代)、大垣浩二、塩田和也、山水稔(代)、荒川弘幸、小矢島応行、鉢村敏雄、川中子伸之
欠席者委員	山本隆、大島將良、稲見郁夫
傍聴者	なし

次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1)議事録の確認について
 - (2)地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について
 - (3)デマンドバスの利用状況について
 - (4)その他
4. 閉会

○開会 欠席者の報告
 (事務局) 山本委員
 大島委員
 稲見委員 3名欠席

(会長) ○会長挨拶
 本日の議題は、地域公共交通確保維持事業・事業評価ということで、1年間どう動いてきたかということに対して、補助金を申請するにあたって大事な内容になるので、皆様の慎重な審議をいただければと思う。

(事務局) 会議成立報告

(会長) 会議成立確認
 議事に入る前に、議事録署名人を指名する。

(会長) 名簿N05番 小口委員、名簿N14番 塩田委員のお二方をお願いしたいと思うがよろしいか。
(議事録署名人決定)

(事務局) 資料確認

議事1【第2回会議議事録の確認】

事務局説明

(会長) 少し時間をとる。
会議録は後日ホームページに掲載されるが、その際発言した委員の氏名は伏せた状態で公開することを、前回の会議で確認した。

資料1について、委員の発言が正しく掲載されているかどうか見ていただきたいので、2~3分程度時間を取りたい。その後、質問があれば受ける方法で進めていきたい。

特に委員名を見てご自身の発言かどうかという点をよく見ていただき、発言内容が違う場合などはご指摘いただきたい。

(委員) 鉢村敏雄の“敏”が間違っている。訂正されたい。

よろしいか。

その他もし誤字等お気づきの点があれば、25日(水)までに事務局にご連絡をお願いします。

議事2【地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について】

事務局説明

●資料2について質疑。

(委員) 評価の⑤について、この項目をBとした理由を伺いたい。

(事務局) 低く見積もってしまっているが、訂正が必要であれば、訂正したい。

(委員) 手元の前年度の資料では、定量的な目標の場合は、100%達成でA、90%達成でB、それ未満であればCという評価基準がある。しかし、今回はその基準の明示がないが、前年度の基準とは異なる指標で評価したのか伺いたい。

(事務局) 前回の評価基準を確認していなかったため、再度確認をし、前回の評価基準と比較し再評価したい。

(委員) 老人クラブの会などで、デマンドバスやおーバスの話題を出しても、知らない方が多く、市民の関心が向いていない状況にある。自家用車で会議に出る方は多いが、男性は会議後にアルコールが入る場合がある。そこにPRのチャンスがあると考えており、時間的余裕を持ってもらえれば、是非そのような用途でもデマンドバスを利用していただけるようにPRしたい。ただ、現状では、デマンドバスは時間の制約があり、夜間はタクシーに頼るしかないので改善されたい。老人クラブの集まりをするにあたって、送迎に関しての問題から、バスを持っている飲食店を利用せざるを得ない。しかし、そういった飲食店は料金が高いため、人が集まりにくい。そうした方たちにも利用してもらえるように、広報しもつけにデマンドバスのPRを掲載してほしい。また、会議の席でも、PRをしていきたいと考えており、その際には、事務局の方にも協力をお願いしたい。

(会長) 資料2⑥の今後の改善点等に通じる部分があるため、引き続き検討し、多くの方に利用していただけるように考えていきたい。

(委員) この評価は、補助金の関係で国へ提出する資料かと思うが、④⑤の項目がともにCであった場合、補助金が減額される可能性はあるか伺いたい。当初の目標が高すぎた可能性もあるかと思う。

(委員) 目標値については、計画上で皆様の承認を貰い設定している旨はご理解いただきたい。④の実施の適切性についても、計画に対し、適切に実施していただく必要はある。ただ、やむ負えない事情により、実施できない場合も考えられるため、その場合は、理由を明確に説明できるようにしていただきたい。補助金については、下野市だけでなく全国規模での予算に基づいた交付となるため、実績が悪い場合、減額などの可能性も考えられる。

(委員) 一日当たりの利用者数について、目標比 64%ということだが、これは 3つのエリアの合計の値で間違いないか。

(事務局) 3つのエリアの合計の値で間違いない。

(委員) 事業評価⑥について、“今後の運行形態や内容について検討する”とあるが、定期運行の実施等、具体的な案があるか伺いたい。
また、事業概要に中学生以上は運賃 300 円、小学生は 200 円、未就学児無料とあるが、現在の 8 時から 17 時の運行時間では、小中学生の利用は難しいと思われる。それについてどのように考えているか伺いたい。

(事務局) 今後の運行形態の具体的な内容については、31 年度までは計画に基づき、現在と同じ形態で運行をしていくが、それ以降については、30 年度に検討していきたい。

(会長) 小中学生の利用については、議題 3 で議論をしていきたい。

資料 2 については、この会議での承認事項になっているため、皆様に確認したい。⑤の項目については、基準に基づき事務局により訂正をし、こちらの内容で申請をしたいがよろしいか。

(委員) 異議なし

(会長) 異議なしという事で、この内容を承認する。

議題 3 【デマンドバスの利用状況について】

事務局説明

●資料 3 について質疑

(委員) P5【平成 29 年度 1 便当たりの乗車人数の推移】について、4 人弱で平均化しているが、この人数が、1 台で 1 時間内に運べる人数の上限であると思われる。そうすると、次回の目標数を現在の運行形態で満たすことは、果たして可能なのか疑問に思う。それについてどのように考えているか伺いたい。

- (事務局) 南河内地区のふれあいサロン事業の関係で、平成 29 年 4 月からは専用バスが運行しているが、昨年度は年間 4,500 人で、1 日あたり 20 名程度の利用があった。連携計画では人数が決まっているので、31 年度まではその計画に基づいた目標になるが、数値目標については、県交通政策課からもご意見を頂き、検討していきたい。
- (委員) 地区毎の運行件数推移については資料があるが、その中で時間によって需要の変化があると思われる。それを踏まえて改善していかないと、PR だけでは利用者数は増えていかないとと思われる。限られた時間の枠内での運行で需要が多すぎて答えられない場合と、逆に要望が少なく車が動かない場合とがあり、需要に波があると思われる。現状のワゴン車で 1 時間当たり 4 人しか運べないという状況は改善しないとまったくなく思う。検討されたい。
- (会長) このデータは平均値で作成されているため、時間ごとの数値のばらつきがわからず、どの時間を PR するのか、伸びしろはあるのかなどわからない部分がある。それについては、事務局と協議しながら進めていきたい。
先ほど小中学生は、現状の運行時間では利用しにくいという意見があったが、年齢別利用者状況の 7～12 歳で、平成 28 と比較し、平成 29 年度に大幅減しているのは、リピーターの利用がなくなったのからなのかどうか、伺いたい。
- (事務局) 2 名のリピーターの利用がなくなった為です。
- (委員) 塾に通う学生をターゲットにするという趣旨でお話いただきましたが、通学への対応は、検討しているか伺いたい。
- (事務局) 現状では、スクールバスを公共交通に含めるか定まっていない状況であるため、詳細については回答できない。
- (委員) 資料は 4 月～12 月のデータだが、季節ごとの利用数の推移を分析するにあたって、昨年度の 1～3 月のデータを示していただきたい。現状 1 時間あたり 1 台平均 4 人という話があったが、9 人乗りの車両で 9 人を運ぶと時間内には回り切れないという状態であったり、9 人を

(委員) 超えればお断りをして他の日に回ってもらったりだとか、予約が多くなった際の対応について、1月～3月についてはどのように分析したら良いのか伺いたい。

(事務局) 申し込みが多くなった場合には、ご説明の上、時間を変更して頂いている。同じ目的地に何人も向かうのであれば、上限の9人乗車も可能であるが、目的地が異なっており、4名程度となっている。1月～3月のデータについては、以前の会議の資料を参考に上げると、1月～3月に向けて上昇傾向にある。平成28年度の実績では、1月は517名、2月は523名、3月は596名となっている。月別利用者数については、100名単位で以前の資料に記載しているが、同じような推移となっている。

(会長) 次回からは、年度を通して確認できるよう資料を準備してほしい。

議題4【その他】

(事務局) 事務局説明

広域交通に関して、壬生町、上三川町、下野市の担当レベルで、県交通政策課にもご意見を頂きながら協議をしている。30年度についてはアンケートの実施などを行い、6月の会議までは情報を提供できるように準備をしていく。

(会長) 本日の議題については、以上とする。

閉会